

委員会審議

総務委員会

一般会計補正予算

●持続可能な地域推進事業費

問 この事業は、シエアリングエコノミーを

活用し、地域社会が抱える課題の解決や新たな生活産業の立ち上げ

による地域経済活性化に向けたモデル事業を

国が地方自治体に委託・支援するもの。鯖江市としてどのような

方向性のものを、また具体的にとどのような

のを行っていくのか。

答 産業観光の推進に向け、一人でも多く、

集積する伝統産業の中に招き入れ、滞在して

もらい、消費拡大に繋げていく活動を行って

いる。そこで課題は、幹線交通網により鯖江

までは来られるが、そこから観光地をどう巡

るのか、移動や宿泊手段をどう確保するのか。

そこで今回、実証実験

を行い、シエアリングエコノミーを活用して

課題解決ができないか考えていきたい。

窓口業務の民間委託

報告 3月定例会以後、

関係部署間の打合せや調整など協議が行われ、

議会においても偽装請負対策や個人情報保護

など課題に対する対応策やデメリットの解消

に向けて議論が交わされた。今後、民間委託

の対応等協議のための検討委員会の立ち上げ

など新たな提案も受け、一定の改善がなされた

と認識した。このよう

なことから、この事業の着手について、全委

員の賛同が得られた。今後は、より一層良い

ものになるよう手続きを確認しながら、議会

とも十分に情報を共有

することをお願いする。

教育民生委員会

一般会計補正予算

●地域密着型サービ

施設整備等事業費補助

金 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サ

ビス事業候補者を選定したもの、事業経営

の悪化や職員の確保が困難との理由で、急ぎ

よ廃止届が提出され、補助金減額となつたと

の説明であるが、なぜ当該事業者を選定した

のか。また、選定後の業者の経営事業を把握

しておく必要があつたのでは。

答 選考委員会において評価点数が基準以上の

の評点を満たしており選定したが、今後事業

候補者を選定する際には、応募事業者の経営

の実態を十分把握したうえで選考し、選定後

も継続して経営状況を把握していきたい。

産業建設委員会

一般会計補正予算

●農林業体験実習館等

施設整備費

平成31年から32年に

かけて実施予定の、ラポーゼかわだ新宿泊棟

等改修工事の実施設設計委託費用。

問 ラポーゼかわだは、平成29年度に6カ月間、

一部の宿泊業務を停止して、大規模な工事を

したばかりである。すぐさま別の工事のため

に1年目に約6カ月間、2年目に約4カ月間と

長期間にわたる改修工事を行うことはいかが

なものか。

また、平成31年度は指定管理者の更新時期

であり、新たな契約者は初年度から工事期間

に入るため、大幅な減収が懸念される。そんな

状況で指定管理者を募集したとして、応募

は見込まれるのか。**答** 施設の改修を行う

ことで誘客効果が期待

される。工事箇所、期間等を考慮し、できる

限り営業への影響を小さくしたい。ただし、

工事期間中は収入が支出を大幅に下回るこ

とが想定されることから、営業継続のための負担

金を支出することとしたい。

このことについて、現指定管理者からは、

経営側の観点からも現実的などころであると

して合意が得られた。

意見 多目的ホールおよび宿泊棟の改修が完

了し、今後の利用率の向上が期待されるタイ

ミングで、改修の費用対効果の考察もなく、

新たな改修工事に着手することは、日頃利用

している住民に迷惑をかけることとなる。

また、営業を停止しての度重なる改修は、

行政・議会への信用低下、更なる経営悪化に

つながらずとも懸念さ

れる。できる限り営業への影響を小さくし、

住民へのサービス提供を行い、工事の進捗等

については、逐一議会に報告を行うことを条

件とする。

●道路除雪費 自治会における除雪

機の購入費用助成制度。

問 道路の広さ、格納庫の確保なども補助対

象としての判断材料のことだが、市街地と

農村部では状況が違う。農村部しか活用できな

い補助制度ではないのか。

答 格納場所がないから補助対象外というよ

うな対応ではなく、申請者の状況を加味し、

手続を行いたい。